

事業計画書様式

1 様式1

(施設概要、指定管理者概要)

2 様式2

(公園の管理運営にあたっての基本方針（ビジョン）、本年度の基本的な管理運営方針（ミッション）、運営業務の実施計画・取組、管理運営体制、人員の配置と研修計画（人員体制表、勤務体制表、人員体制の考え方・職能等、職員の人材確保及び人材育成・職員の研修方針及び計画について）)

3 様式3

(利用者サービスの向上・利用促進策、広報・プロモーションの取組、市民協働・市民主体の活動の支援・地域人材育成、地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献、災害時の緊急対応、安全対策・防犯対策、苦情・要望への対応・不法行為対策について、本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮、個人情報保護・情報公開・人権尊重・障害者差別解消)

4 様式4

(公園の維持管理の基本方針、公園施設・設備の維持管理、公園施設・設備の修繕計画、樹木・植栽等の管理、巡視・清掃)

5 様式5

(無料事業実施計画一覧（自主事業含む）、有料事業実施計画一覧（自主事業含む）)

6 様式6

(業務の第三者委託一覧)

7 様式7

(収支予算書（指定管理事業のみ）)

8 様式8

(運営目標)

(事業計画書様式1)

1 施設概要

公園名	海の公園
所在地	金沢区海の公園 10
公園面積、公園種別	471,063 m ² (総合公園)
主な施設	人工砂浜・親水護岸、なぎさ広場、ビーチバレー・ビーチスポーツ場、健康歩道、犬の遊び場、バーベキュー場、管理棟、休憩所、案内所、ウインドサーフィン艇庫、駐車場等
特徴	横浜市内で唯一海水浴ができる砂浜（人工海浜）を有する公園です。砂浜は延長約1kmあり、夏は海水浴客で賑わうほか、アサリ等多くの貝類が生息しているため、春先には潮干狩り等で賑わいます。また、マリンスポーツの場としても人気があり、園内にはウインドサーフィン、SUP等の艇庫、砂浜にはビーチバレー場、ビーチスポーツ場が設置されています。そのほか、なぎさ広場の芝生のグラウンドやバスケットコート、園路のジョギングコース等、様々なスポーツ施設を有しています。 公園開設当時に植樹された樹木が豊かに成長し、青い海に鮮やかに映える豊かな緑を形成し、散策や休憩に最適な緑陰を提供しています。また、多種の鳥や昆虫の生息場所にもなっています。
公園開園日	1988年（昭和63年）7月2日

2 指定管理者概要

指定管理者名	横浜市緑の協会・金沢臨海サービスグループ
代表者名	代表団体 公益財団法人横浜市緑の協会 理事長 橋本 健
所在地	横浜市中区日本大通 58
指定管理期間	令和7年4月1日から令和12年3月31日まで（5年間）
現指定管理者管理運営開始日	令和7年4月1日

構成団体A

団体名	公益財団法人 横浜市緑の協会
代表者名	理事長 橋本 健
所在地	横浜市中区日本大通 58

構成団体B

団体名	株式会社 金沢臨海サービス
代表者名	代表取締役 高柳 実
所在地	横浜市金沢区柴町 391-7

(事業計画書様式2)

1 公園の管理運営にあたっての基本方針（ビジョン）

海の公園の特性を活かし、当団体が掲げるビジョン「豊かな海を未来へ繋ぎ みんなで創ろう 3SEA（頼も SEA(シー) 美 SEA(シー) 楽 SEA(シー)) な海を」の達成に向けた着実な管理運営に取り組みます。

当公園の管理運営においては、市内で唯一、管理区域内に海域を持つ都市公園として、防災も含めた海辺の安全安心の遵守、生物多様性・景観の保全、海ならではの多様な憩い・楽しみを誰もが享受できる場・機会の提供、横浜市中期計画や GREEN×EXPO 2027 といった市の重要施策への協力などを、多様な主体と連携して推進・発展させたいと考えています。

2 基本的な管理運営方針（ミッション）

指定管理者に求められる基本的役割を果たし、かつ上記ビジョン実現のため、公園の特性を踏まえた4つのミッション（果たすべき役割）に取り組みます。

- ・ミッション1 頼も SEA(シー) 安全・安心を強化し、「いつも」・「もしも」に備えます
- ・ミッション2 美 SEA(シー) 海の公園特有の環境を守り、次世代に繋げます
- ・ミッション3 楽 SEA(シー) 海の公園のストックを活かし、多様な楽しみを推進します
- ・ミッション4 みんなで創ろう 海の公園のより良い公園環境は、多様な主体と連携して創出します

3 運営業務の実施計画・取組

今年度の管理運営方針を実施するための取組

- (1) ミッション1 頼も SEA(シー) 安全・安心を強化し、「いつも」・「もしも」に備えます
安全・安心な公園づくりに向け、特に海辺の安全対策に注力し、日頃から気象災害や地震による津波など災害時の備えを強化することで、利用者・地域の皆様の安全を守ります。
- (2) ミッション2 美 SEA(シー) 海の公園特有の環境を守り、次世代に繋げます
多様な生物が生息する海や浜辺、白砂青松などの緑地資源を活かした環境教育や生物多様性保全に関する取組を推進し、環境に対する意識を高めるとともに、貴重な自然を後世に継承します。
- (3) ミッション3 楽 SEA(シー) 海の公園のストックを活かし、多様な楽しみを推進します
多様な人がレクリエーションやスポーツを楽しめる事業やサービスを充実させ、心身共に豊かで健康的な日々を送るための環境を提供することで、ウェルビーイングにも貢献します。
- (4) ミッション4 みんなで創ろう 海の公園のより良い公園環境は、多様な主体と連携して創出します
本公園の安心・安全・快適・景観・賑わいづくりは、地域・市民・団体の皆様など多様な主体とも連携しながら創出します。これらにより、地域課題の改善にも貢献します。

4 管理運営体制、人員の配置と研修計画

(1) 管理運営体制

職種	人数(名)	役割
園長（施設長）	1	責任者
副園長（副施設長）	2	副責任者、施設管理・園地管理
運営管理スタッフ（職員）	2	運営管理
運営管理スタッフ（パート）	4	運営管理
海浜管理・園地整備スタッフ（職員）	6	海浜管理・園地整備
海浜管理・園地整備スタッフ（パート）	17	海浜管理・園地整備
安全管理スタッフ（ライフセーバー、看護師等）（職員）	1	安全管理
安全管理スタッフ（ライフセーバー、看護師等）（パート）	29	安全管理
建物清掃スタッフ（職員）	4	建物清掃
建物清掃スタッフ（パート）	6	建物清掃

(2) 勤務体制

職種	主な業務内容	勤務体制(目安)
園長（施設長）	公園統括・マネジメント、事業・予算管理、人材育成	週5日
副園長（副施設長）	統括補佐、運営・施設・海浜・園地管理業務統括	週5日
運営管理スタッフ（職員）	運営管理、自主事業、広報、設備保守管理、植栽管理など	週5日
運営管理スタッフ（パート）		週2～4日
海浜管理・園地整備スタッフ（職員）	巡視、点検、海浜管理・園地整備など	週5日
海浜管理・園地整備スタッフ（パート）		週2～4日
安全管理スタッフ（ライフセーバー、看護師等）（職員）	海面監視、救護など	週5日
安全管理スタッフ（ライフセーバー、看護師等）（パート）		週2～4日
建物清掃スタッフ（職員）	建物・トイレ清掃など	週5日
建物清掃スタッフ（パート）		週2～4日

・勤務体制は12～22名を基本とし、繁忙日は増員するなど、柔軟に対応します。

(3) 人員体制の考え方・職能等

公園全体を統括する園長（施設長）、園長の補佐及び園長不在時に統括を代行する副園長（副施設長）を2名配置します。スタッフは、専門性を高めるため、業務別に人員を配置します。また、園長、副園長は、業務別に分かれたスタッフが一体となって公園管理に取り組めるよう、相互の業務協力を促すようマネジメントします。

(4) 職員の人材確保及び人材育成・職員の研修方針及び計画について

「公園管理のプロを育てる」を到達目標に、人材育成に取り組めます。

- ・研修は、①利用者対応・サービス、②園地管理作業、③マネジメント関係をテーマに実施
- ・目標管理制度、職員表彰制度の運用

（事業計画書様式3）

1 利用者サービスの向上・利用促進策

(1) 頼も SEA（シー） 安全・安心を強化し、「いつも」・「もしも」に備えます

・海辺の安全・安心の徹底

いつでも公園を安全・安心・快適に利用できるよう、特に海辺の安全対策と啓発に注力

(2) 美 SEA（シー） 海の公園特有の環境を守り、次世代に繋げます

・海辺の環境保全

本公園の環境保全につながる取組を多様な主体と連携して実施することで、自然環境を活かした社会課題解決（ネイチャーベースドソリューション＝NbS）への貢献、「ネイチャーポジティブ」達成への貢献

・海や緑を身近に感じる取組の充実

本公園の海浜環境を活かした環境教育・啓発や、GREEN×EXPO 2027 への協力を念頭においた緑に関する取組の推進

(3) 楽 SEA（シー） 海の公園のストックを活かし、多様な楽しみを推進します

・潮干狩り・海水浴を快適に楽しめる公園の賑わい・環境づくり（レクリエーション）

潮干狩りや海水浴を、快適に楽しめるような環境づくり、公園や金沢区の賑わいづくりと魅力アップに向けた取組の推進

・海辺や広場を活かした心身の健康づくり（スポーツ）

本公園の多様な施設を活かし、スポーツなど市民の健康づくりに資する事業やサービスを充実させ、心身共に豊かで健康的な日々を送るための環境を提供。競技会では公園の賑わいづくりにも貢献

・誰もが憩える園内づくり（インクルーシブな公園環境）

(4) その他

・海水浴場の遊泳条件・混雑状況可視化サービスの導入や、講座などの Web 申込、SNS を活

用した各種情報発信を実施

2 広報・プロモーションの取組

- ・関係機関や企業等と連携し、区の魅力や取組を海とのふれあいセンターのモニターで映像発信し、区のまちづくりを応援
- ・広域の利用を呼び込むため、金沢工業団地と連携して作成した本公園のプロモーション映像をホームページや海とのふれあいセンターのモニターで発信
- ・コミュニティFMや、地域自治会、区内小中学校など、地域を対象に公園情報を発信
- ・横浜金沢観光協会や横浜シーサイドラインと連携した情報発信
- ・ホームページやSNSを活用し、潮干狩りや海水浴、イベント情報などをタイムリーに発信

3 市民協働・市民主体の活動の支援・地域人材育成

- (1) 多様な主体との協働によるより良い公園環境の創出
 - ・各種訓練などの安心・安全に関する事業、アマモ場再生などの環境保全活動、地域や企業との賑わいづくりなどにおいて、多様な主体と連携
- (2) ボランティアがいきいき活動できる場・機会の支援
 - ・ボランティア活動をより活性化させるため、気軽に活動に参加できるメニューづくりや用具などの貸出しを行い、円滑な活動を支援
- (3) 地域人材育成への貢献
 - ・本公園特有の海浜環境を活かし、環境問題に興味を有する地域人材や水難救助などで活躍する地域人材の育成に貢献

4 地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献

- (1) 「人口変動や高齢化に対応したまちづくり」へのアプローチ
 - ・子どもの発育を支援するための体験教室の開催や、キッズスペースの設置などによる子育て支援の取組
 - ・海辺や広場など本公園の多様な施設を活かし、心身の健康づくりを支援
 - ・園内サインの更新時はピクトグラムの使用やカラーバリアフリー対応を実施、水陸両用車いすの貸出など、インクルーシブに配慮した公園環境の整備
- (2) 「自然環境の保全・創出」へのアプローチ
 - ・緑の拠点としての機能を高める取組として、管理公園間での知識・技術・情報の共有や、樹木植栽管理の研修を実施(年3回)
 - ・環境活動の支援や脱炭素への取り組みなど、海辺の環境保全を推進
- (3) 「防災機能の強化」へのアプローチ
 - ・発災時はスタッフの非常参集など行政の災害活動に積極的に協力、災害実地訓練(管理期間中1回以上)による対応能力の向上や、津波避難訓練などの実施による地域の防災機能強化
- (4) 「地域資源を活用した地域の活性化」へのアプローチ
 - ・賑わいイベントの実施や各種競技会への支援を通じ、本公園を地域資源として利活用すること

- で地域の活性化に貢献
- (5) 地域経済活性化への取組
- ・官公需適格組合（横浜市グリーン事業協同組合）への委託、市内中小企業への優先的発注の実施

5 災害時の緊急対応

- (1) 災害に備える予防的対策
- ・災害対応マニュアルや津波避難誘導マニュアルの整備・共有
 - ・災害実地訓練(管理期間中1回以上)や防災訓練(年1回)など各種訓練の実施
 - ・園長が防災士を取得し、スタッフに研修を実施
 - ・園内に津波避難マップや津波一時避難場所看板を設置
 - ・対応資材の備蓄、警報発表時の特別巡視、大会主催者と連携した災害対策、災害対応型自動販売機の設置
- (2) 災害発生時の基本的対応
- ・初動対応として災害情報を園内放送などで利用者に提供、市と連携し、帰宅困難者一時滞在施設等への案内を実施
 - ・職員不在時に発災した場合は、災害対応マニュアルに基づき参集対応
 - ・公園独自のハザードマップをもとに園内の被害状況を確認し対応する特別巡視を実施
 - ・宿泊者が生じた場合、駐車場やトイレを開放、災害情報の提供などを実施
- (3) 津波注意報・津波警報・大津波警報発表時の対応
- ・津波警報伝達システムを通じた園内放送による情報提供と、当団体作成の「津波避難誘導マニュアル」に基づき、園内の海拔5mを超える高台に津波フラッグを用いて避難誘導
 - ・潮干狩りや海水浴の好適日や大規模イベント開催時などは、状況に応じた避難誘導を実施

6 安全対策・防犯対策

- (1) 安全対策
- ・気象注意報（落雷、光化学スモッグ注意報等）発表時の注意喚起
 - ・水難事故対策として、潮干狩り・海水浴期間中はライフセーバーを配置し海面を監視。巡視に活用するため水上バイクなどを配備
 - ・危険生物対策として、ハチ、チャドクガ等の防除や、海の危険生物の漂着時の除去と注意喚起、トビやカラスによる被害防止のための注意喚起
 - ・事故防止対策として、ハザードマップの整備・活用、他公園の事故事例の共有、放置釣針やペグ等の定期的な回収と放置禁止の呼びかけ
 - ・AEDの複数設置や救護用品の配備
 - ・不審物対応として、不審物の発見時は警察や市所管へ連絡、犯罪予告があった際は巡視を実施
 - ・熱中症対策として、熱中症予防行動の周知や、海水浴期間中の大型テントの設置による日陰の提供などを実施

(2) 防犯対策、不法行為対策・利用指導

- ・園内の死角は、日常巡視において重点的な確認や、見通しの改善を実施
- ・盗難・器物損壊等の発生時は、警察や市所管への連絡・報告、注意看板を設置
- ・機械警備やコールセンターの設置により夜間でも警備員・職員が急行可能な体制を構築、夏期の夜間は警備員巡視を実施

(3) 不法行為対策・利用指導

- ・マリンスポーツやレジャーの海面利用ルールを関係団体と策定し、利用者に周知・啓発
- ・アサリ保護を目的としたスタッフや警備員による「アサリ巡視」、啓発看板・チラシの掲出、及びホームページやブログ等でルールを周知
- ・落書きへの適切な対応、公園内全面禁煙への対応
- ・犬のノーリードや違法なドローン利用などに対する利用指導の実施

(4) 感染症対策

- ・基本的対策の実施、高病原性鳥インフルエンザへの適切な対応、蚊媒介感染症の予防

(5) 公衆衛生

- ・安全な水質で海水浴を楽しめるよう、海水浴場開設に必要な2回の検査に加え、独自で期間中に定期的検査及び遊泳禁止時の検査を実施し、水の安全性を随時確認
- ・隣接する金沢ポンプ場から海域への越流水放出の連絡を受けた際は、水質が改善されるまで遊泳禁止措置を講じる
- ・犬の散歩マナー向上の取組、地域猫の餌やり時のマナー向上などと呼び掛け

(6) 維持管理作業における安全対策

- ・草刈作業は、複数名の作業を基本とし、園路や公道、民家添いは刈高3～5cmを基準に、飛散防止シートなどを用いて石などが飛散しないよう養生
- ・作業車両は、通行許可証を前面に掲示のうえ、ハザードランプ点灯、徐行運転を徹底するほか、必要に応じ誘導員を配置し、安全に配慮
- ・公園利用に影響が生じる作業では、事前に園内の作業場所周辺やホームページなどで予告
- ・墜落制止用器具、ヘルメット、ゴーグルなどの安全装備着用の徹底
- ・作業機器取扱者は、安全衛生教育を受講
- ・KY(危険予知)ミーティングにより、作業者の体調、装備、作業内容の確認及び危険予知活動を徹底し、体調不良者には休養などを措置
- ・炎天下での長時間作業を避け、塩分・水分の補給やこまめな休憩など、熱中症対策を実施
- ・燃料や刃物などの危険物は、関連法令を遵守し、鍵のかかる保管庫で厳重に管理

7 苦情・要望への対応・不法行為対策について

(1) 広報事業実施要綱などに基づく具体的な対応

- ・本公園ホームページに「ご意見・ご要望・お問合せ」受付ページを設置、窓口や電話、利用者アンケートなど様々な方法で聴取し、改善策などを迅速に検討、実施

8 本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮

- (1) 「横浜市中期計画 2022～2025」の重点施策等を踏まえた取組
 - ・子どもの健全育成に資する教室等の開催を通じた、子ども・子育て支援への貢献
 - ・行政や地域と連携した各種訓練や賑わいイベントの開催などによる、安全・安心で魅力的な「まち」づくりへの貢献
 - ・GREEN×EXPO 2027 応援花壇の設置及び管理、関連ポスター、リーフレット掲出など、「GREEN×EXPO 2027」への貢献
- (2) 「横浜市 SDGs 未来都市計画」を踏まえた取組
 - ・GREEN×EXPO2027 応援花壇の設置、アサリ生息調査・砂浜の耕耘・アマモ場再生活動・ビーチクリーンなどによる環境保全 ほか
 - ・市民・地域団体等によるボランティア活動の支援、インクルーシブな管理の推進 ほか
 - ・市内産の花苗などの植栽を通じた地産地消の推進、健康経営の推進、ワークライフバランスの推進 ほか
- (3) 「横浜市地球温暖化対策実行計画」の実現に向けた取組
 - ・脱炭素に向けて CO₂排出量算定ツールを導入し、排出量を見える化
 - ・回収したアオサの一部を堆肥化して、農業に活用
 - ・横浜ブルーカーボン事業への協力
 - ・グリーン電力等の導入
- (4) 市内中小企業への優先発注
 - ・本公園での物品購入や工事・委託の発注は、基本的に市内中小企業へ発注

9 個人情報保護・情報公開・人権尊重・障害者差別解消

- (1) 個人情報保護・情報公開
 - ・個人情報保護は、当団体の個人情報保護方針、個人情報保護規程に基づき管理
 - ・情報公開は、情報の公開に関する規程に基づき対応
 - ・個人情報保護研修を実施
- (2) 人権尊重・障害者差別解消
 - ・障害者雇用への取組、健康経営の推進や女性活躍推進の取組
 - ・人権啓発研修を実施

(事業計画書様式4)

1 公園の維持管理の基本方針

- ・ネイチャーポジティブ (NP) にもつなげる維持管理の推進
本公園の豊かな自然を次世代につなげるため、生物多様性保全と安全・安心・快適な公園環境を両立する海浜の維持管理に取り組みます。
- ・「海の公園花咲くプロジェクト」のさらなる推進
来園者が季節の移ろいを感じられるよう、本公園の大きな特徴であるマツ林の景観保全や、季節の彩りを演出する草花の植栽、GREEN×EXPO 2027 応援花壇の設置により、花と緑の魅

力向上に取り組みます。

2 公園施設・設備の維持管理

(1) 漂着アオサの回収と堆肥化

- ・アオサ用特装トラクターで迅速・大量に回収し、快適な海浜環境を維持
- ・回収したアオサの一部は堆肥化し、農業肥料にリサイクルすることで、脱炭素に貢献

(2) アサリの生育保全

- ・アサリの状況・分布などを把握・分析し、潮干狩り等での情報提供・海的环境保全に役立てるため、生育調査を月1回実施
- ・アサリなど貝類の生育環境の改善を目的に、砂浜内を攪拌して空気を入れる砂浜耕耘を実施(年1回)

(3) アマモ場の保全

- ・快適な海水浴場に配慮した維持管理のため、海水浴場開設前にアマモを一部刈込み
- ・アマモ場再生活動

海域内の生物多様性保全を推進するため、NPO団体の指導のもと、アマモ場を再生・拡大するためのアマモの花枝採取・種子選別・植付活動を、企業や市民と連携して実施

3 公園施設・設備の修繕計画

(1) 予防保全

照明などの電気設備や機械設備、遊具などは、定期点検や精密点検により健全度や劣化状況を把握して修繕の優先度を評価。計画的な修繕により、事故防止や長寿命化に貢献。利用者の安全や公園管理に重大な支障が生じる恐れがある場合は、速やかに実施

(2) 事後保全

ベンチや園路などは、事後保全とし、日常巡視・点検などにより異常の有無を確認し、常に適切なタイミングで修繕を実施。老朽化したものは、市と協議のうえ更新に向け取組

4 樹木・植栽等の管理

(1) GREEN×EXPO 2027 応援花壇による魅力の増進

- ・ロゴマークをイメージした、四季の移り変わりが楽しめる花壇づくりに着手

(2) 季節の見どころづくりに配慮した花壇管理

- ・園内に複数の花壇を設置し、本公園の気候に合う宿根草を植栽した花壇に一年草を組み合わせるなど、季節の彩りを演出
- ・花壇の維持管理作業の一部は、「海の公園ボランティア DAY」の参加者など、ボランティアの協働により実施

(3) 「白砂青松」の景観の保全

- ・マツ林の広がりやマツ越しの景観を楽しめるよう、視線を遮る下枝や込み入った枝は除去
- ・マツ枯れ対策として、必要に応じ樹幹注入を行い予防。マツ枯れの症状発生時は、市と協議のうえ、速やかに伐採。伐採後は、病虫害に罹りにくい樹種の補植を実施

(4) サクラの魅力保持

- ・園内約 160 本のサクラの魅力保持のため、樹勢が衰えた個体は、回復のため適切な治療を実施するとともに、老齢化の進んだものは、市と協議のうえ更新を検討
- ・樹林地内の一部のサクラは、周辺樹木からの被圧を避け、十分な日光が当たるよう、周辺樹木を剪定し、樹勢を保持

(5) 公園環境に合わせた植栽の充実

- ・園内に植栽を新規導入する際は、耐潮性、耐寒性がある植物とするなど、公園環境に合致したものを選定
- ・艇庫横などに新たにアメリカデイゴなどを植栽し、木陰の創出と新たな花と緑の見どころづくりを実施

(6) その他植栽の維持管理における取組

- ・病害虫対策は予防的防除を前提とし、薬剤散布を行う場合は、市の指針や関連法規に従って、利用の少ない時間帯に作業エリアを封鎖したうえで実施
- ・間伐材や剪定枝などの発生材は薪などに活用し、イベント時の無料配布などで利用促進を図り、園内の資源循環を推進
- ・草刈機での除草が難しい石畳や園路等は、随時手作業で伐根除草するなど、きめ細やかに管理

5 巡視・清掃

(1) 巡視・点検方法

- ・日常巡視を1日2回実施し、異常の早期発見に注力。特に不審物、不審者、折れ枝、路面異常、釣り針・ペグ・ガラス片などの危険物、排水の詰まり、施設・設備の破損等注意到意
- ・異常発見時は、直ちに園長または副園長に報告・対応を協議。現場で対処できない異常は、使用禁止など臨時的措置ののち、市と協議のうえ対応
- ・マナー違反・危険行為などの目撃時は利用指導を実施
- ・点検は、市公園施設点検マニュアルに基づく施設点検（年4回（通常3回、詳細1回））、施設管理者点検（年1回）、当団体独自の月例点検（月1回）を実施。梅雨、台風、落葉時期は排水機能の確認、台風、降雪時期の枯枝・枯損木の確認、行楽シーズン前の遊具の安全確保などを特に留意して実施
- ・特別巡視は、気象警報解除後や震度5弱以上の地震発生後、他園での重大事故発生時に実施し、被害状況の確認や応急措置の実施、状況を市に報告
- ・園内での不法行為の抑制や、地域の安全対策のため、夜間の園内灯の点灯点検を実施（月1回）
- ・潮干狩りシーズンは、利用者に持続可能な潮干狩りに向けたルールを啓発するため、スタッフや警備員による「アサリ巡視」を実施。夜間の違法な大量採取の防止を目的として、必要に応じて夜間も巡視
- ・海水浴シーズンの夜間や年末年始の繁忙時などに、必要に応じて警備員による巡視を実施

(2) 清掃方法

日常・定期清掃

- ・砂浜は、裸足の方に配慮し、釣り針・ペグ・ガラス片などの危険物は毎日除去。風に吹かれた砂が公園の北側に堆積しやすいため、随時砂浜の砂の均一化作業を実施
- ・タイドプールは構造上、漂着物が堆積しやすいため、定期的に清掃により景観に配慮
- ・園路は、ごみ拾い、掃き掃除などを実施。降雨後や落葉時期は、利用者が滑りやすいため、重点的に実施。園路に飛来した砂を砂浜に戻す飛砂復旧を定期的に実施
- ・ベンチ・テーブル・手すりなどの工作物は、汚れなどに特に注意して清掃を実施
- ・トイレは、毎日1回を基本とし、利用状況に応じて随時実施
- ・ふれあいコーナー・なぎさ広場は、床やテーブル、窓ガラス清掃などを利用状況に応じて適宜実施。授乳室のベビーベッドのシーツ交換や、オムツ用ごみ箱の清掃などを実施

臨時清掃

- ・砂浜は、漂着アオサの回収を随時実施。アオサが大量に漂着した場合に備えて、日頃から横浜市資源循環局金沢工場（焼却工場）に受け入れを依頼
- ・海域：海水浴シーズンには、海底のマガキや、ブイに付着する貝類等を除去
- ・トイレは、必要に応じて排水管清掃や洗浄機を使用した特別清掃を実施。利用者が最も多い潮干狩りシーズンには、洋式の仮設トイレを設置
- ・ふれあいコーナー・なぎさ広場では、掲示物や利用状況に注意して管理を行い、汚損や不適切な利用状況が見られた場合には、清掃や利用者への声かけを実施

（事業計画書様式5）

無料事業実施計画一覧（自主事業含む）

No	事業名	内容（募集人数等）	新規	実施時期	回数
(1) 頼も SEA（シー） 安全・安心を強化し、「いつも」・「もしも」に備えます					
1	合同水難救助訓練	横浜海の公園ライフセービングクラブと金沢消防署との共催で、実際の事故を想定した水難救助訓練を実施		7～8月	1
2	津波避難訓練	海開きに合わせ、金沢区及び地域消防団と連携して、市民・関係団体参加型の訓練を実施		7月	1
3	ジュニアライフセービング教室	水難事故防止のため、水中での身のこなしや緊急時の心肺蘇生、応急手当などの子ども対象の体験教室を開催		6～12月	6
4	海水浴期間中の安全・安心の徹底	ライフセーバー配置、巡視用ジェットスキー・救助用ボートの配備、ライフジャケットの貸出、迷子案内所、看護師配置、近隣病院への協力要請		海水浴期間中	随時
5	海の危険生物対策	本公園の海域で見られる毒性の強い生物の情報を、海とのふれあいセンターに掲出。実際に出現・漂着時には、ホームページなどで注意喚起		通年	通年

(2) 美 SEA (シー) 海の公園特有の環境を守り、次世代に繋げます					
6	アマモ場再生活動	NP0 団体の指導のもと、園内のアマモ場再生・拡大を目的としたアマモの花枝採取・種子選別・植付活動を、企業・市民の皆様との連携で実施		随時	随時
7	ビーチクリーン活動の支援・推進	ボランティアにゴミ袋・軍手の支給、トング等用具類を貸し出し。ホームページなどで活動協力を呼びかけ		通年	通年
8	アサリの生息調査	アサリの状況・分布等を把握する定点観測調査を行い、調査結果に基づき乱獲防止を啓発		毎月	12
9	潮干狩り時のルール周知・啓発	潮干狩りの継続的な環境を維持するため、園内放送、ホームページ、ブログ、SNS による啓発、多言語表記の啓発看板掲出などを実施		潮干狩り期間	随時
10	海の公園花咲くプロジェクト	GREEN×EXPO 2027 の PR も兼ねた次の取組を、市民・団体、金沢区役所などと連携して実施		—	—
10-1	GREEN×EXPO 2027 応援花壇の設置・管理	令和5年に設置した当該花壇を、市民協働で管理		随時	随時
10-2	季節ごとの花の演出	園内 11 か所の花壇を、季節の花々で演出		随時	随時
10-3	はまっこユーキの無料配布イベント	「はまっこユーキ」の利用拡大を支援するため、園内で無料配布会を実施		随時	随時
11	潮干狩りワークショップ	横浜シーサイドラインと共催し、潮干狩りのルールやノウハウを楽しく学ぶワークショップを開催		6月	1
12	海とのふれあいセンターまつり	本公園の PR と海への関心を高めてもらうクラフト教室などを実施し、公園利用を促進		8月	1
(3) 楽 SEA (シー) 海の公園のストックを活かし、多様な楽しみを推進します					
13	潮干狩りでのサービス	救護所への看護師の配置(土休日のみ)、干潮時刻情報提供、渋滞・駐車場情報の発信、潮干狩りグッズの販売、水陸両用車いすの貸出など		潮干狩り期間中	随時
14	海開き式	海開き宣言やステージ発表、津波避難訓練(再掲)、ビーチクリーンなどを実施		7月	1
15	海水浴でのサービス	休憩テントや無料シャワー、更衣室の設置、海水浴グッズの販売、水陸両用車いす貸出、迷子案内所設置		海水浴期間中	随時
16	アウトドアイベント GOOD OPEN AIRS	国内外のアウトドアブランドが集結し、ワークショップ、アクティビティ、物販などを実施	○	4月	1
17	ドッグランイベント	大規模ドッグランイベントを開催。期間中はキッチンカーも出店し、利用者の飲食ニーズに対応		10月～2月	4

18	子どもロケット体験教室	市民団体等と連携して、紙製ロケットを砂浜で飛ばす体験教室を開催		10、3月	2
19	地域と連携した季節の催事	金沢区や横浜金沢観光協会などと連携し、金沢まつり花火大会や金沢文庫芸術祭、どんど焼きを開催		8、10、1月	3回
20	サンドアートフェスティバル	金沢文庫芸術祭に合わせ、砂浜の砂を活用した市民参加のミニ砂像づくり教室などを開催		9月	1
21	愛犬マナー教室	気軽に犬の散歩マナーを学ぶことができる教室を実施		秋季(予定)	1
22	海の公園ボランティアDAY	ボランティア活動のきっかけづくりを目的に、活動日を設け、参加を呼びかけ		通年	8
23	ウインドサーフィン等体験スクール	ウインドサーフィン等の体験スクールを地元企業と連携し共催	○	通年	通年
24	シーカヤックレース大会	地元NPO団体との共催で、シーカヤックのレースを本公園と周辺海域で実施	○	9～10月	1
25	ビーチアルティメット大会	県フライングディスク協会と共催で開催し、競技の普及啓発にも貢献	○	12月頃	2
26	ビーチスポーツフェスタ(大会)	ビーチバレー、ビーチハンド、ビーチサッカーなどの大会を、市内の競技団体等と連携して開催		8月	1
27	ビーチバレー大会	ビーチバレーの普及に貢献するため、横浜ビーチバレー連盟と協力して開催		通年	10
28	なぎさ広場カップサッカー大会	市内チームと日本在住外国人チームの少年サッカー交流大会を大会実行委員会と共催		12～3月	2
29	金沢区ロードレース大会	本公園から八景島にいたるマラソン・駅伝大会を実行委員として各団体と協力して開催		2月	1
30	ターゲットバードゴルフ大会	横浜ターゲットバードゴルフ協会と連携して、シニア向け大会を開催		12～2月	3
31	インクルーシブビーチイベントの試行	横浜ラポール等との共催で、障害のある市民の皆様が海とふれあい、楽しめるイベントを試行開催	○	10月頃	1
32	フリーマーケット	市民団体との共催でフリーマーケットを開催		随時	24
(4) その他					
33	水遊び場の開設	夏の暑さ対策として、海水浴場開設期間と気温の高い日に実施		海水浴場期間中等	随時
34	海水浴場の遊泳条件・混雑状況可視化サービス	JLAが認定海水浴場に提供する専用機材により、海水浴場にいるライフセーバーが海水浴場の遊泳条件や混雑状況をリアルタイムにホームページなどで発信	○	海水浴場期間中	随時

35	なぎさ広場団体貸出利用	特記仕様書に基づいた、なぎさ広場団体貸出利用		4～6月 8～12月	67
36	「よこはま緑のまちづくり基金」募金箱設置	市内の緑化推進や環境保護等に寄与する募金活動を実施		通年	通年
広報・プロモーションの取組					
37	区内情報映像の発信	区のまちづくりを応援するため、関係機関や企業等と連携し、区の魅力や取組を海とのふれあいセンターのモニターで映像発信	○	随時	随時
38	プロモーション映像の発信	金沢工業団地と連携して作成した本公園のプロモーション映像を、公園ホームページや海とのふれあいセンターのモニターで発信	○	通年	1

有料事業実施計画一覧（自主事業含む）

No	事業名	内容 (募集人数・一人当たりの参加費)	新規	実施 時期	回数	自主事業予算額(円)	
						総経費	収入
(2) 美 SEA (シー) 海の公園特有の環境を守り、次世代に繋がります							
1	環境学習講座	環境を学べる観察会やワークショップを実施 (のべ 80 人、@500)		随時	4	200,000	40,000
(3) 楽 SEA (シー) 海の公園のストックを活かし、多様な楽しみを推進します							
2	キッチンカーの出店	多客日を中心に出店し、利用者の飲食ニーズに対応		随時	随時	0	150,000
3	ジュニアサッカー教室	市内サッカークラブと共催する未就学児から小学生対象の通年型の教室		通年	40	0	220,000
	合計					200,000	410,000

（事業計画書様式6）

業務の第三者委託一覧

業務名	内容	再委託会社	年回数	実施月	備考
維持管理業務委託	公園維持管理	横浜市グリーン事業協同組合	通年	通年	—
樹木医委託	樹木医による樹木の診断及び樹勢回復等	（特非）自然への奉仕者・樹木医協力会	1	未定	—

国際園芸博応援花壇設置	園路沿いの花壇植栽	横浜市グリーン事業協同組合	1	未定	—
警備業務委託	公園警備	横浜シーサイド協同組合	通年	通年	—
自家用電気設備保安	自家用電気設備保安 ①月次点検 ②年次点検	(株)九州電業社	①12 ②1	①毎月 ②未定	—
自家発電設備点検	自家発電設備点検	R7 年度に見積合せ	1	未定	—
園内灯設備及び夜間照明施設保守点検	園内灯設備及び夜間照明施設保守点検 巡視点検②部品交換	光洋電設(株)	①1 ②随時	①4～6 月 ②通年	—
受水槽点検清掃	法令等に基づく点検 清掃等①点検清掃② 水質検査③定期検査	(株)トップランドコーポレーション	①1 ②1 ③1	①未定 ②未定 ③未定	—
消防設備保守点検	法令に基づく定期点検 ①機器点検 ②総合点検	(有)消防設備サービス	①2 ②1	①9、3 月 ②3 月	—
なぎさ広場衛生設備等保守点検	なぎさ広場衛生設備 (ボイラー等) 保守 点検	山本設備工業(株)	1	6 月	—
空調設備等保守点検	空調設備等保守点検 及びフロン簡易点検	東京冷機工業(株)	4	5、8、11、2 月	—
エレベーター設備保守点検	エレベーター設備保守点検 (フルメンテナ ンス)	(株)日本ビルテクノス	12	毎月	—
海水浴場施設設置	中央監視所・シャ ワー更衣室・大テン トの設置・撤去	(株)芳垣建設	1	4～9 月	—
海水浴場総合案内 看板等設置・撤去	海水浴場総合案内・ 犬立入禁止他看板設 置・撤去	(株)精美堂	1	7、9 月	—
海水浴場水質検査	海水浴場水質検査 ①定期検査②緊急検 査	R7 年度に見積合せ	①5 ②3	7、8 月	—

中央監視所リモートマイク取付・撤去	リモートマイク・スピーカー設置・撤去	R7年度に見積合せ	1	4～9月	—
給水ポンプ設備保守点検	給水ポンプ（中央口）設備保守点検	(株)荏原製作所	2	7、1月	—
電話設備保守点検	電話設備保守点検	R7年度に見積合せ	6	奇数月	—
放送設備保守点検	放送設備保守点検（公園全体・なぎさ広場）	R7年度に見積合せ	1	1月	—
シャッター設備保守点検	シャッター設備保守点検	R7年度に見積合せ	1	2月	—
自動ドア保守点検	自動ドア保守点検	(株)神奈川ナブコ	3	4、8、12月	—
給湯設備点検	艇庫・管理センター給湯設備点検	(株)イワサワ	1	2月	—
海水浴場ポスターデザイン委託	海水浴場ポスターデザイン	(株)クレコミックス	1	6月	—
サイン計画策定（一部更新）	老朽化した園内看板・表示の計画的に更新	R7年度に見積合せ	1	5～3月	—
公園案内リーフレット	リーフレットの増刷	(株)クレコミックス	1	随時	—

海の公園 令和7年度 事業計画書

(事業計画書様式7)

収支予算書 (指定管理事業のみ)

(単位: 円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	239,366,000	0	239,366,000	0	239,366,000	
利用料金収入	129,000	0	129,000	0	129,000	
自主事業収入	410,000	0	410,000	0	410,000	
横浜市による運営支援	11,171,110	0	11,171,110	0	11,171,110	横浜市による物価高騰に伴う指定管理施設運営支援
雑入	0	0	0	0	0	
その他雑入	1,492,000	0	1,492,000	0	1,492,000	指定管理事業外から繰入1,492,000円
収入合計 (a)	252,568,110	0	252,568,110	0	252,568,110	
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	85,589,000	0	85,589,000	0	85,589,000	
給与・賃金	71,637,000	0	71,637,000	0	71,637,000	
社会保険料	8,900,000	0	8,900,000	0	8,900,000	
通勤手当	3,707,000	0	3,707,000	0	3,707,000	
福利厚生費	1,345,000	0	1,345,000	0	1,345,000	
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	
事務費	20,610,110	0	20,610,110	0	20,610,110	
旅費	3,152,000	0	3,152,000	0	3,152,000	
消耗品費	4,446,000	0	4,446,000	0	4,446,000	
会議賄い費	37,000	0	37,000	0	37,000	
印刷製本費	132,000	0	132,000	0	132,000	
通信運搬費	1,534,000	0	1,534,000	0	1,534,000	
使用料及び賃借料	258,000	0	258,000	0	258,000	
(横浜市への支払い分)	0	0	0	0	0	
(その他)	258,000	0	258,000	0	258,000	
備品購入費	1,642,000	0	1,642,000	0	1,642,000	
保険料	1,207,000	0	1,207,000	0	1,207,000	
振込手数料	0	0	0	0	0	
リース料	6,625,000	0	6,625,000	0	6,625,000	
手数料	0	0	0	0	0	
その他事務費	1,577,110	0	1,577,110	0	1,577,110	
自主事業費	6,662,000	0	6,662,000	0	6,662,000	
管理費	117,657,000	0	117,657,000	0	117,657,000	
光熱水費合計	22,628,000	0	22,628,000	0	22,628,000	
光熱水費 (電気)	6,258,000	0	6,258,000	0	6,258,000	
光熱水費 (ガス)	86,000	0	86,000	0	86,000	
光熱水費 (水道)	8,367,000	0	8,367,000	0	8,367,000	
光熱水費 (下水道)	7,917,000	0	7,917,000	0	7,917,000	
清掃費	13,720,000	0	13,720,000	0	13,720,000	
修繕費	10,000,000	0	10,000,000	0	10,000,000	
機械警備費	0	0	0	0	0	
公園及び公園施設設備保全費	71,309,000	0	71,309,000	0	71,309,000	
施設 (建物) ・設備保守	3,992,000	0	3,992,000	0	3,992,000	
園地管理費	35,995,000	0	35,995,000	0	35,995,000	
その他保全費	31,322,000	0	31,322,000	0	31,322,000	
公租公課	6,277,000	0	6,277,000	0	6,277,000	
公租公課 (事業所税)	0	0	0	0	0	
公租公課 (消費税)	6,251,000	0	6,251,000	0	6,251,000	
その他公租公課	26,000	0	26,000	0	26,000	
事務経費 (本部分)	12,352,000	0	12,352,000	0	12,352,000	
雑費	3,421,000	0	3,421,000	0	3,421,000	
支出合計 (b)	252,568,110	0	252,568,110	0	252,568,110	
差引 (a-b)	0	0	0	0	0	
(参考) 指定管理事業外の収支						
設置管理許可収入合計 (c)	236,012,033	0	236,012,033	0	236,012,033	
設置管理許可支出合計 (d)	199,988,575	0	199,988,575	0	199,988,575	
差引 (c-d)	36,023,458	0	36,023,458	0	36,023,458	

今年度の収支計画

自主事業収入 400 千円以上

(事業計画書様式8)

運営目標

項 目	取組み内容及び具体的な数値目標
業務運営 1 (様式2: 運営業務の実施計画・取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度アンケートの実施 1 回 ・満足度結果 60%以上
業務運営 2 (様式2: 管理運営体制、人員の配置と研修計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画した人員の配置 ・研修・講習の実施 <ul style="list-style-type: none"> 利用者対応・サービスに関する研修 4 件以上 園地管理作業に関する研修 3 件以上 マネジメントに関する研修 6 件以上
業務運営 3 (様式3: 利用者サービスの向上・利用促進策)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心に関する取組 5 件 ・環境保全の取組 9 件 ・多様な楽しみを推進する取組 22 件 ・水遊び場の開設 (随時) ・遊泳条件・混雑状況可視化サービス (随時)
業務運営 4 (様式3: 広報・プロモーションの取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・区内情報映像の発信 (随時) ・プロモーション映像の発信 (年 1 回)
業務運営 5 (様式3: 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体との連携 (通年) ・ボランティア活動の支援 (通年)
業務運営 6 (様式3: 地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済活性化への取組 <ul style="list-style-type: none"> 横浜市グリーン事業協同組合の活用 (通年) 市内中小企業への優先発注 (随時) ・業務運営 2 および 3、5、7 の各取組の達成 (再掲)
業務運営 7 (様式3: 本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮)	<ul style="list-style-type: none"> ・GREEN×EXPO 2027 応援花壇の設置・管理 (随時) ・回収アオサの堆肥化 (随時) ・横浜ブルーカーボン事業への協力 (通年)
業務運営 8 (様式4: 公園の魅力を高める施設保全・管理)	<ul style="list-style-type: none"> ・漂着アオサの回収と堆肥化 (随時) ・砂浜耕耘による貝類の生育環境の改善 ・アマモ場の保全、再生活動
業務運営 9 (様式4: 施設 (建物等)、設備の維持管	<ul style="list-style-type: none"> ・定期点検 (通常 3 回・詳細 1 回) の実施 ・当団体独自のチェックシートに基づく定期点検の実施 (月 1 回)

理、修繕計画)	
業務運営 10 (様式4: 樹木、植栽等の管理)	<ul style="list-style-type: none"> ・ GREEN×EXPO 2027 応援花壇による魅力増進 (随時) ・ 季節の見どころ作りに配慮した花壇管理 ・ サクラの魅力保持
業務運営 11 (様式4: 巡視・清掃)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常巡視の実施 (1日2回) ・ 梅雨、台風、落葉時期に排水機能の確認 (随時)
収支 (様式7: 収入確保、経費節減策)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主事業収入 400 千円以上